

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.189

2022年12月期調査



<調査要項>

・調査時点	2022年	12月上旬	
・調査対象期間	2022年	10-12月実績	
	2023年	1-3月見通し	
・調査対象企業	当金庫取引先	450社	
	有効回答数	446社 (有効回答率99.1%)	
・業種別企業数	製造業	137社、卸売業	69社
	小売業	92社、運輸・サービス業	56社
	建設業	66社、不動産業	26社
・調査方法	営業店調査員による面接聞き取り調査		

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index, 拡散指数)による分析方法を採用しています。各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい

 姫路信用金庫

10 - 12 月の概況

● 当金庫取引先の景況感は 2 四半期ぶりの改善

当金庫取引先の 2022 年 10-12 月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の 14.1% で前期 (2022 年 7-9 月期 12.3%) から +1.8 ポイント、「悪い」は 27.1% で前期 (同 29.5%) から ▲2.4 ポイント。全業種総合の業況判断 DI は、前期 ▲17 から +4 ポイントの ▲13 となり、2 四半期ぶりに改善した。

業種別で見ると、製造業の業況判断 DI は、前期 ▲8 から ▲2 ポイントの ▲10、非製造業の業況判断 DI は、前期 ▲21 から +7 ポイントの ▲14 となった。

● 来期は小幅悪化する見通し

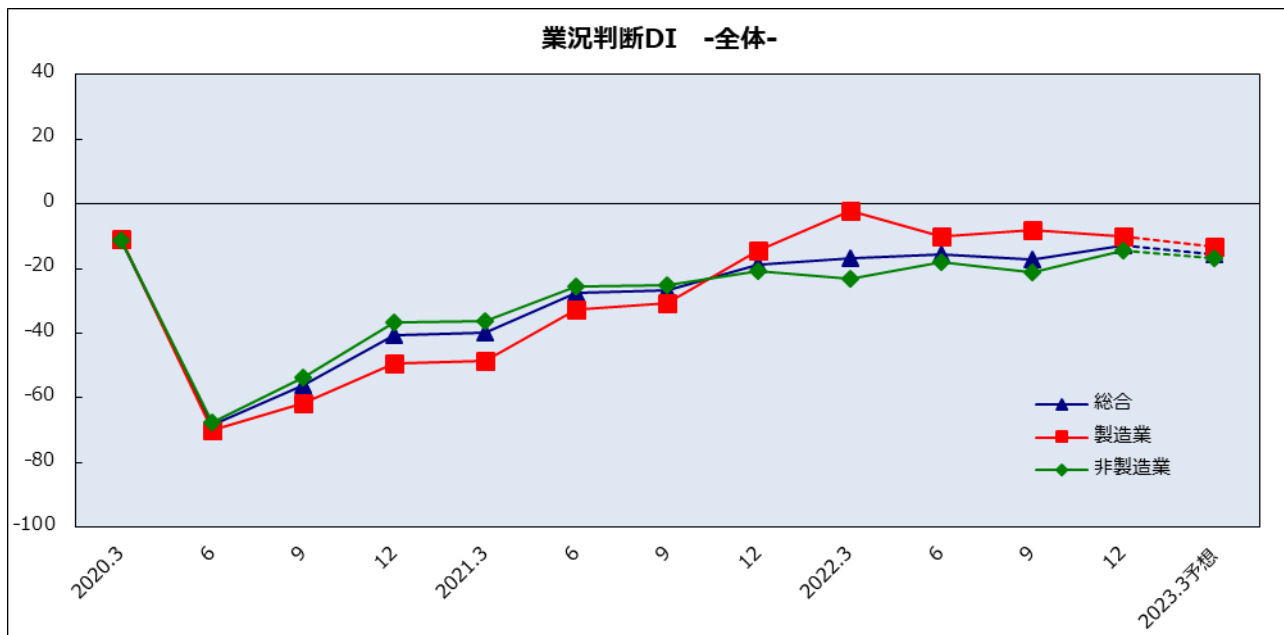
来期 (2023 年 1-3 月期) の全業種総合の予想業況判断 DI は、今期 ▲13 から ▲3 ポイントの ▲16 と小幅に悪化する見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断 DI は今期 ▲10 から ▲3 ポイントの ▲13、非製造業は今期 ▲14 から ▲3 ポイントの ▲17 となる見通しである。

■ 最近の業況判断 DI の推移

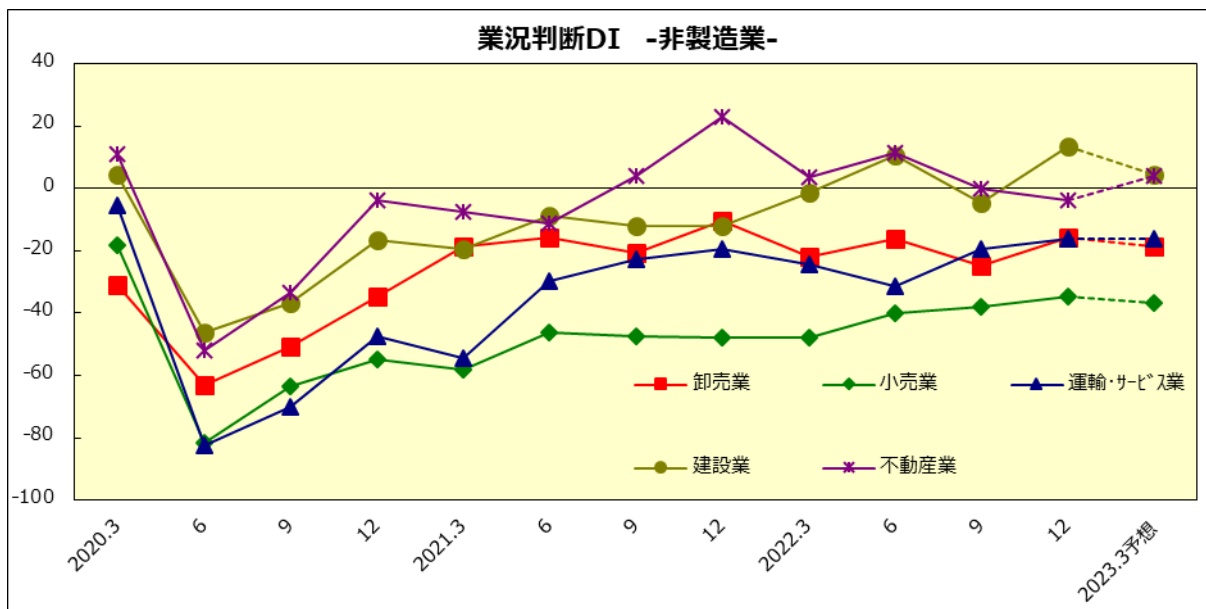
・ 業況判断 DI (総合)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期
総合 (446社)		-19 (↗)	-17 (↗)	-16 (↗)	-17 (↘)	-13 (↗)	-16 (↘)
製造業 (137社)		-15 (↗)	-2 (↗)	-10 (↘)	-8 (↗)	-10 (↘)	-13 (↘)
非製造業 (309社)		-21 (↗)	-23 (↘)	-18 (↗)	-21 (↘)	-14 (↗)	-17 (↘)

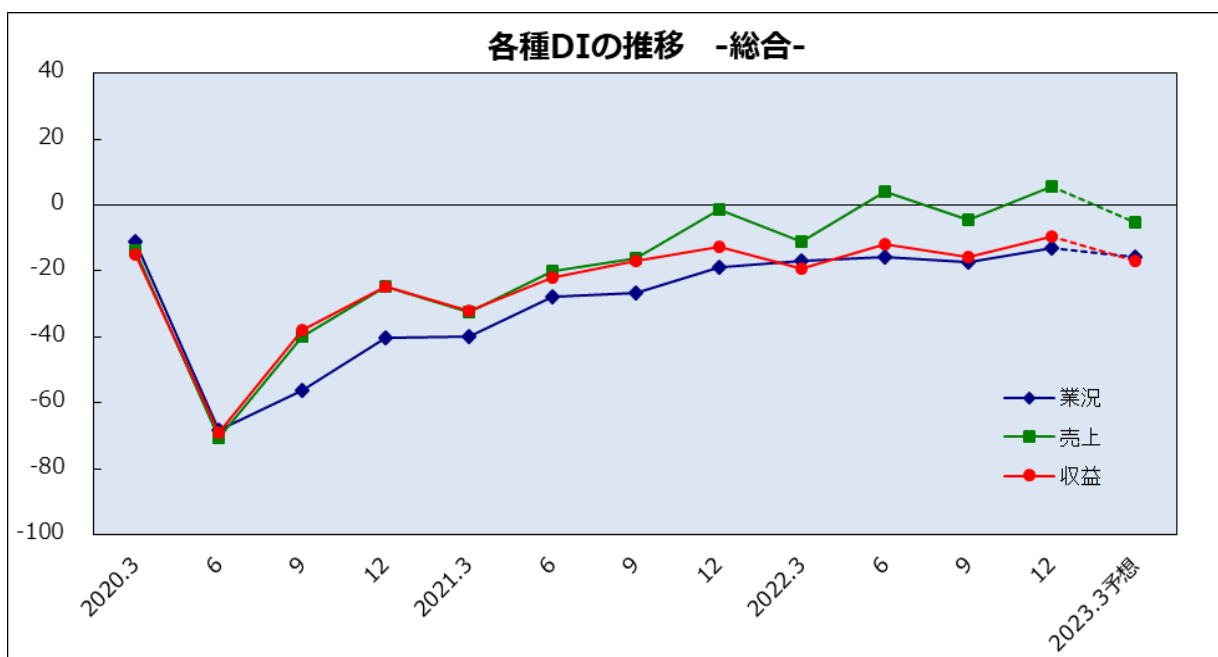


・業況判断 DI (非製造業)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期
卸売業 (69社)		-10 (↗)	-22 (↘)	-16 (↗)	-25 (↘)	-16 (↗)	-19 (↘)
小売業 (92社)		-48 (↘)	-48 (→)	-40 (↗)	-38 (↗)	-35 (↗)	-37 (↘)
運輸・サービス業 (56社)		-20 (↗)	-25 (↘)	-32 (↘)	-19 (↗)	-16 (↗)	-16 (→)
建設業 (66社)		-12 (→)	-1 (↗)	10 (↗)	-4 (↘)	14 (↗)	5 (↘)
不動産業 (26社)		23 (↗)	4 (↘)	12 (↗)	0 (↘)	-4 (↘)	4 (↗)



■ 業況判断・売上・収益の各種DIの推移



● 2 四半期ぶりの悪化

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の 16.8%で前期 (17.6%) から▲0.8 ポイント、「悪い」は 27.0%で前期 (25.7%) から+1.3 ポイント。業況判断 DI は前期▲8 から▲2 ポイントの▲10 となり、2 四半期ぶりに悪化した。

来期は金属製品、皮革製品など 5 業種で改善、一般機械器具、食料品など 7 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲10 から▲3 ポイントの▲13 と小幅に悪化する見通しである。

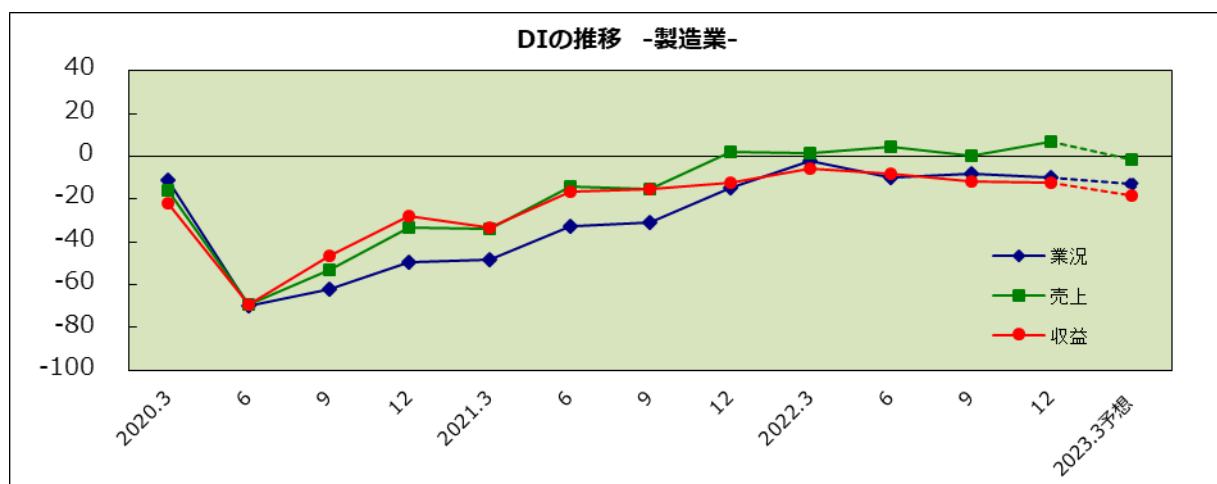
● 今期は 21 業種中、7 業種で改善、8 業種で悪化

一般機械器具、食料品など 7 業種で改善、金属製品、電気機械器具など 8 業種で悪化した。
21 業種中…業況改善 7 業種 / 業況横這 6 業種 / 業況悪化 8 業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期
金属製品 (19社)		-17 (↗)	0 (↗)	0 (→)	-5 (↘)	-21 (↘)	-16 (↗)
一般機械器具 (16社)		-7 (↗)	6 (↗)	-6 (↘)	-13 (↘)	0 (↗)	-6 (↘)
食料品 (14社)		0 (↗)	7 (↗)	-29 (↘)	-15 (↗)	-7 (↗)	-21 (↘)
輸送用機械器具 (12社)		-8 (↘)	25 (↗)	0 (↘)	-17 (↘)	17 (↗)	-8 (↘)
電気機械器具 (8社)		-38 (↘)	-13 (↗)	-38 (↘)	0 (↗)	-38 (↘)	-38 (→)
皮革製品 (8社)		-38 (↗)	-13 (↗)	25 (↗)	38 (↗)	13 (↘)	50 (↗)
プレス・メッキ (7社)		14 (↗)	14 (→)	-14 (↘)	0 (↗)	14 (↗)	14 (→)
建築用金属製品 (7社)		0 (↗)	0 (→)	-14 (↘)	14 (↗)	-29 (↘)	-14 (↗)
出版・印刷 (6社)		17 (↗)	-50 (↘)	-33 (↗)	-50 (↘)	-50 (→)	-33 (↗)
窯業・土石 (5社)		0 (→)	40 (↗)	40 (→)	0 (↘)	-20 (↘)	-20 (→)
繊維製品 (靴下) (5社)		-80 (→)	-75 (↗)	-60 (↗)	-40 (↗)	-20 (↗)	-20 (→)

調査員のコメント

- ・原材料価格高騰分は販売価格に転嫁できているが、電気代等来春以降更に負担大きくなる見込みで、利幅は縮小する見通し。 (一般機械部品)
- ・前年比、増収増益なるも、光熱費・原材料高騰により更なる価格転嫁が必要。 (食料品)
- ・短期納期の受注が多い反面、労働力・労働時間の確保等で利益率若干減少傾向にある。 (輸送用機械器具)



● 2 四半期ぶりの改善

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 8.7%で前期 (7.4%) から+1.3 ポイント、「悪い」は 24.6%で前期 (32.4%) から▲7.8 ポイント。業況判断 DI は前期▲25 から+9 ポイントの▲16 となり、2 四半期ぶりに改善した。

来期は機械器具、家具建具じゅう器で改善、農畜産物・水産物、飲食料品など 3 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲16 から▲3 ポイントの▲19 と小幅に悪化する見通しである。

● 今期は 9 業種中、6 業種で改善、1 業種で悪化

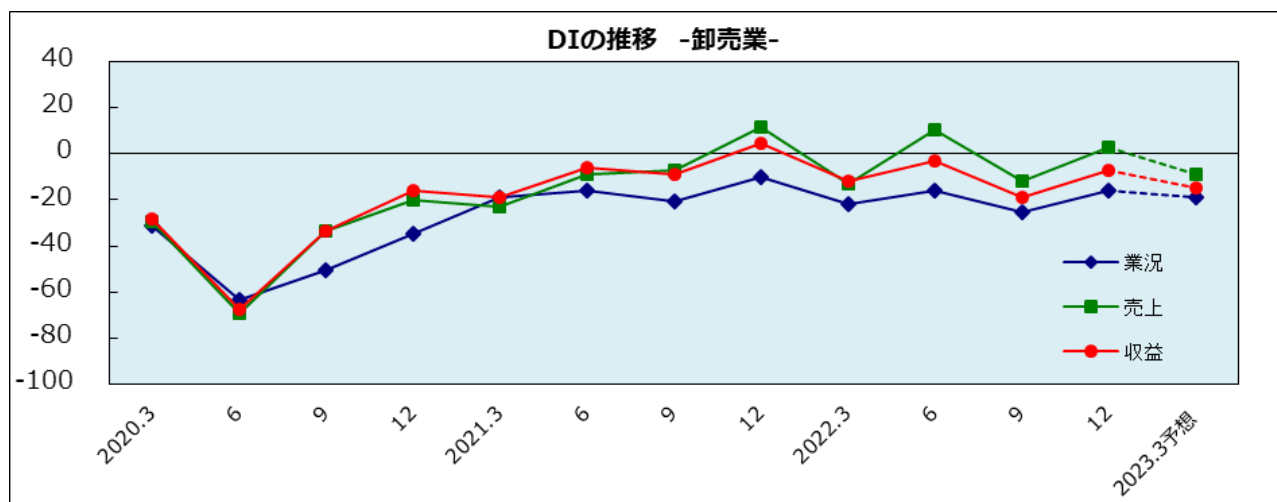
機械器具、農畜産物・水産物など 6 業種で改善、金属材料で悪化した。

9 業種中…業況改善 6 業種 / 業況横這 2 業種 / 業況悪化 1 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期
機械器具 (19社)		-16 (↗)	-21 (↘)	-21 (→)	-26 (↘)	-21 (↗)	-5 (↗)
農畜産物・水産物 (11社)		0 (↗)	-60 (↘)	-20 (↗)	-30 (↘)	-27 (↗)	-55 (↘)
建築材料 (9社)		25 (↗)	0 (↘)	-11 (↘)	-22 (↘)	0 (↗)	0 (→)
飲食料品 (9社)		-33 (→)	-22 (↗)	-11 (↗)	-22 (↘)	11 (↗)	0 (↘)
金属材料 (6社)		0 (↘)	-17 (↘)	0 (↗)	0 (→)	-33 (↘)	-33 (→)
化学製品 (3社)		-33 (↘)	-33 (→)	-100 (↘)	-67 (↗)	-33 (↗)	-33 (→)
衣服身回品 (3社)		-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-67 (↘)	-33 (↗)	-67 (↘)
再生資源 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
家具建具じゅう器 (1社)		-100 (↘)	-100 (→)	0 (↗)	-100 (↘)	-100 (→)	0 (↗)
その他 (6社)		0 (↘)	17 (↗)	17 (→)	0 (↘)	0 (→)	-17 (↘)

調査員のコメント

- ・ 仕入価格高騰を販売価格に転嫁し利益は確保するも、今後のインボイス制度導入による小規模事業所の廃業が加速することを危惧している。(機械器具)
- ・ 原油高の影響により仕入価格も高騰しており、今後販売先への価格交渉及び在庫管理の徹底に注力の方針である。(農畜産物・水産物)
- ・ 10月の酒類価格値上げに際して、販売価格に転嫁し対応を図っていく方針である。(飲食料品)



● 3 四半期連続の改善

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 7.6%で前期 (7.6%) から横這い、「悪い」は 42.4%で前期 (45.7%) から▲3.3ポイント。業況判断 DI は前期▲38 から+3ポイントの▲35 となり、3 四半期連続で改善した。

来期は飲食料品で改善、飲食店、スーパー・コンビニなど 3 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期▲35 から▲2ポイントの▲37 と小幅に悪化する見通しである。

● 今期は 12 業種中、5 業種で改善、3 業種で悪化

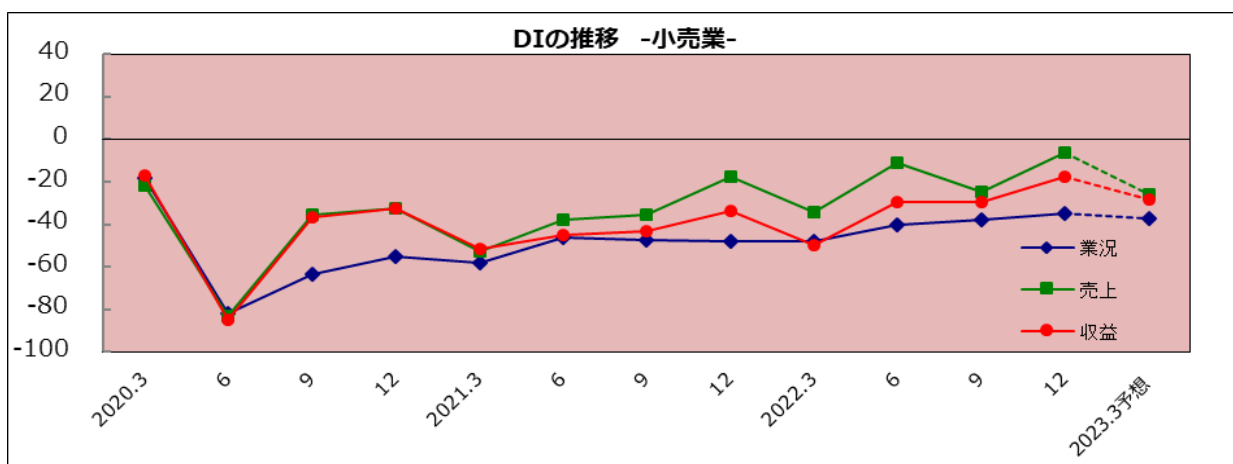
衣服身回品、飲食店など 5 業種で改善、飲食料品、自動車など 3 業種で悪化した。

12 業種中・・・業況改善 5 業種 / 業況横這 4 業種 / 業況悪化 3 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期
飲食料品 (24社)		-48 (↗)	-45 (↗)	-42 (↗)	-42 (→)	-50 (↘)	-42 (↗)
衣服身回品 (15社)		-87 (↘)	-73 (↗)	-60 (↗)	-60 (→)	-33 (↗)	-33 (→)
飲食店 (11社)		-64 (↗)	-70 (↘)	-55 (↗)	-55 (→)	-45 (↗)	-73 (↘)
スーパー・コンビニ (9社)		0 (→)	-22 (↘)	-22 (→)	-22 (→)	11 (↗)	0 (↘)
自動車 (8社)		-38 (↘)	-25 (↗)	-38 (↘)	-38 (→)	-50 (↘)	-50 (→)
ガソリン (6社)		-67 (↘)	-67 (→)	-17 (↗)	50 (↗)	0 (↘)	0 (→)
家電機器 (4社)		25 (↘)	-25 (↘)	-50 (↘)	-25 (↗)	-25 (→)	-25 (→)
書籍・文具 (3社)		-33 (→)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
医薬品・化粧品 (3社)		-33 (↗)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
娯楽用品 (2社)		50 (→)	-50 (↘)	-100 (↘)	-100 (→)	-100 (→)	-100 (→)
時計・眼鏡 (2社)		-50 (↗)	-100 (↘)	-50 (↗)	-100 (↘)	-50 (↗)	-50 (→)
木材建築材料 (1社)		0 (→)	0 (→)	-100 (↘)	-100 (→)	0 (↗)	-100 (↘)
その他 (4社)		-83 (↘)	-60 (↗)	0 (↗)	-50 (↘)	-75 (↘)	-50 (↗)

調査員のコメント

- ・水道光熱費、食材の高騰により利益確保が厳しく、値上、製造効率化に取り組中。 (飲食料品)
- ・不採算店舗の閉鎖等の経営改善に着手。新規事業の婦人靴販売が好調。 (衣服身回品)
- ・海外情勢、物価高の影響大きく、収益減少傾向。今後、販売価格への転嫁で対応。 (飲食店)



●2 四半期連続の改善

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の12.5%で前期(8.8%)から+3.7ポイント、「悪い」は28.6%で前期(28.1%)から+0.5ポイント。業況判断DIは前期▲19から+3ポイントの▲16となり、2四半期連続で改善した。

来期は自動車整備・駐車場、物品賃貸で改善、運輸業、クリーニング・理容・美容で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲16から横這いとなる見通しである。

●今期は7業種中、2業種で改善、1業種で悪化

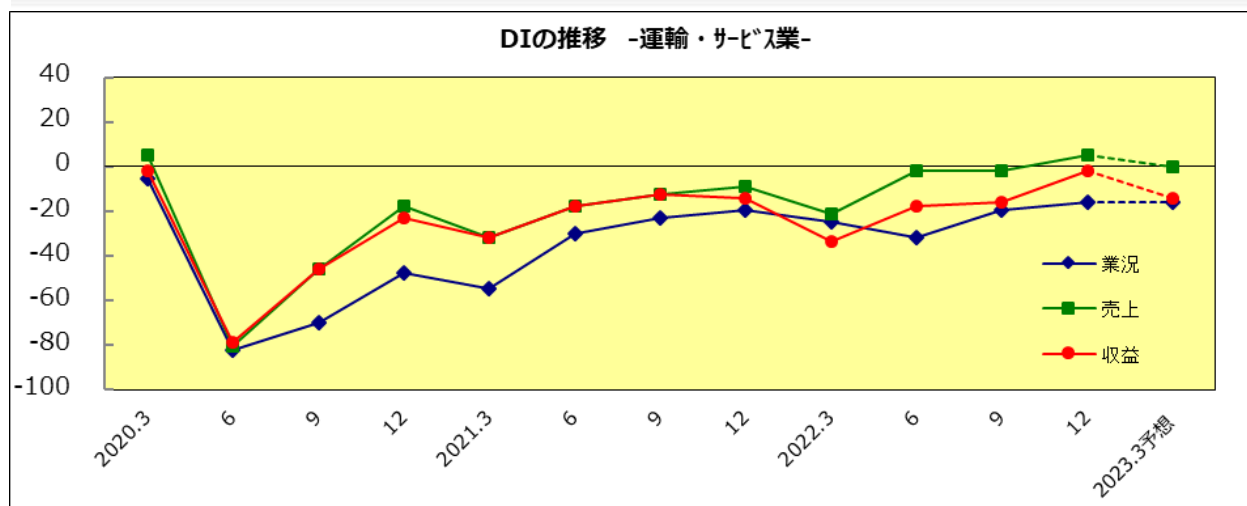
運輸業、自動車整備・駐車場で改善、情報サービス・調査・広告で悪化した。

7業種中・・・業況改善 2業種 / 業況横這 4業種 / 業況悪化 1業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期
運輸業 (13社)		-50 (↓)	-43 (↑)	-57 (↓)	-14 (↑)	0 (↑)	-8 (↓)
自動車整備・駐車場 (9社)		13 (↑)	-11 (↓)	-33 (↓)	-33 (→)	-22 (↑)	-11 (↑)
クリーニング・理容・美容 (7社)		-43 (↓)	-57 (↓)	-29 (↑)	-29 (→)	-29 (→)	-43 (↓)
情報サービス・調査・広告 (4社)		0 (→)	0 (→)	-25 (↓)	0 (↑)	-25 (↓)	-25 (→)
修理業 (3社)		-67 (↓)	-67 (→)	-67 (→)	-100 (↓)	-100 (→)	-100 (→)
物品賃貸 (2社)		0 (→)	-50 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)	50 (↑)
旅館宿泊所 (2社)		-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)
その他 (16社)		6 (↑)	6 (→)	-6 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・燃料価格高騰や残業時間増加等により経費が増加し、収益を圧迫している。 (運輸業)
- ・半導体不足等により自動車の品不足は深刻。新車が入手できず、中古車も値が大幅に上昇。 (自動車整備・駐車場)
- ・秋祭り等のイベント再開により、売上回復傾向を見込む。 (情報サービス・調査・広告)



●前期から大幅改善

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の24.2%で前期(14.9%)から+9.3ポイント、「悪い」は10.6%で前期(19.4%)から▲8.8ポイント。業況判断DIは前期▲4から+18ポイントの+14となり、大幅に改善した。

来期は設備工事で横這い、総合工事、職別工事で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期+14から▲9ポイントの+5と悪化する見通しである。

●今期は3業種中、全業種で改善

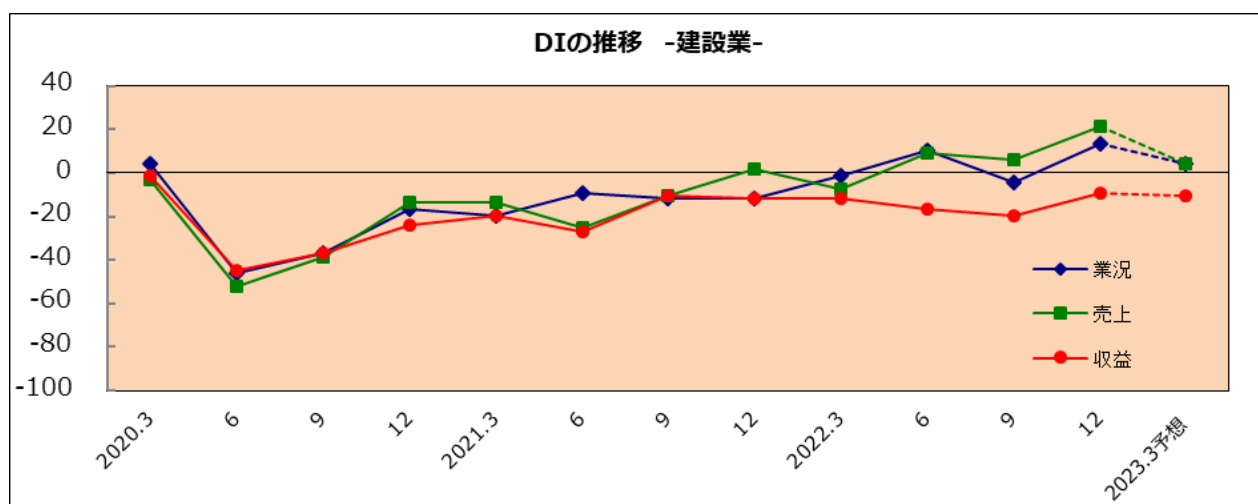
総合工事、職別工事など全業種で改善した。

3業種中…業況改善 3業種 / 業況横這い 0業種 / 業況悪化 0業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期
総合工事	(31社)	-10 (↗)	-10 (→)	3 (↗)	-6 (↘)	3 (↗)	0 (↘)
職別工事	(20社)	-14 (↘)	19 (↗)	29 (↗)	0 (↘)	30 (↗)	5 (↘)
設備工事	(15社)	-13 (↗)	-13 (→)	0 (↗)	-7 (↘)	13 (↗)	13 (→)

調査員のコメント

- ・コロナ融資の返済負担を非常に懸念されている様子。 (総合工事)
- ・同業種間での生き残りをかけ、統廃合を行っており、今後更なる統廃合が予見。 (職別工事)
- ・コロナの影響は徐々に少なくなっており、増収傾向にて推移すると考えられる。 (設備工事)



●2 四半期連続の悪化

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の15.4%で前期(14.8%)から+0.6ポイント、「悪い」は19.2%で前期(14.8%)から+4.4ポイント。業況判断DIは前期0から▲4ポイントの▲4となり、2四半期連続で悪化した。

来期は不動産代理・仲介で改善、建売・土地売買、貸事務所・土地賃貸など3業種で横這いと予想しており、予想業況判断DIも今期▲4から+8ポイントの+4と改善する見通しである。

●今期は4業種中、1業種で改善、2業種で悪化

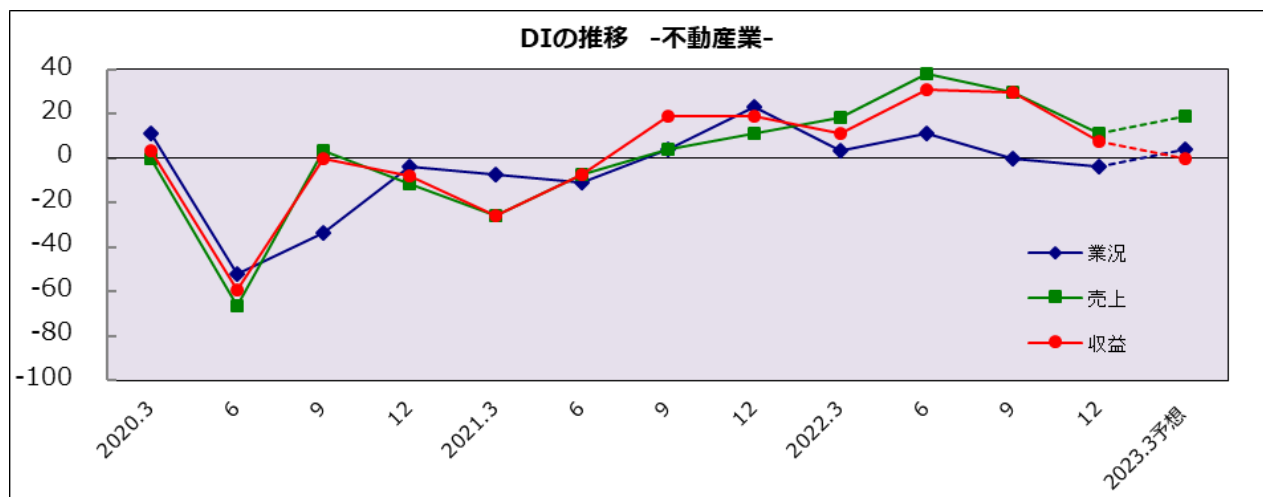
貸家・貸間で改善、建売・土地売買、貸事務所・土地賃貸で悪化した。

4業種中・・・業況改善 1業種 / 業況横這 1業種 / 業況悪化 2業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2021/10-12期	2022/1-3期	2022/4-6期	2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期
建売・土地売買 (12社)		8 (↓)	23 (↑)	17 (↓)	8 (↓)	0 (↓)	0 (→)
不動産代理・仲介 (9社)		63 (↑)	-33 (↓)	11 (↑)	-11 (↓)	-11 (→)	11 (↑)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-50 (↓)	-50 (→)
貸家・貸間 (1社)		100 (→)	100 (→)	0 (↓)	0 (→)	100 (↑)	100 (→)
その他 (2社)		-50 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・住宅の着工数はコロナ前まではいかないが回復傾向にある。電気材料の不足が一部あり。
(建売・土地売買)
- ・商品物件の高騰についてはやや落ち着いているものの、大阪方面の不動産業者が進出してきており、情報強化が必要。
(建売・土地売買)
- ・商品土地の仕入れに困難している。大手不動産屋が郊外へ進出してきており、商品が少なくなっている。
(不動産代理・仲介)



~MEMO~